

研修報告

ベーシック研修：新任者養成研修⑥～⑧

【新任者養成研修⑥】

◇研修日：2020年12月19日（土）

◇テーマ：『面接技術1・2』

◇講師：愛知県立大学准教授 大賀 有記氏

◇アンケート コメント紹介

- 以前面談して自分のなかでは課題があった内容のケースと似ていたので事例はとても勉強になりました。受容について言葉、沈黙(間の取り方)、繰り返し、とても勉強になりました。社福の倫理綱領の追加も知らなかったので自身の立場を制度から振り返り、全人的存在としての把握につとめたいと感じました。
- 普段面接をする際に面接技術まで考えながら患者さんと話すことがなかなかできていないと感じました。毎回の面接において面接技術まで意識するのは難しいかと思いますが、面接後に振り返ったり、次の面接時に一つでも気をつけることとして頭に入れながら今後、面接に臨みたいと思います。

【新任者養成研修⑦】

◇研修日：2021年1月9日（土）

◇テーマ：『医療機関機能別専門知識1～4』

◇講師：メイトウホスピタル（回復期・地域包括ケア）石川 真弓氏
刈谷豊田総合病院（療 養）高麗 彰子氏
江南厚生病院（緩和ケア）石田 宏氏
星ヶ丘アメニティクラブ（老 健）石川 将弘氏

◇アンケート コメント紹介

- 転院、施設への入所相談をするにあたりそれぞれの病棟の特徴、役割を把握したうえで情報提供をしていかないといけないため今回の講義で改めて学ぶことが出来た。また、どうしても転院で調整をする事が多いため老健についての知識が少なく、類型の資料はとても参考になった。
- 病院のそれぞれの機能を整理することができた。自分の所属する病院はもちろん理解しやすかったが、事例があることで、その病院の機能はどういう患者が対象であり、どんな機能があるのか、想像しながら学ぶことができた。また講義を通して、自分の所属する病院の機能をもっときちんと理解する必要があると改めて思った。

【新任者養成研修⑧】

◇研修日：2021年1月23日（土）

◇テーマ：『自己覚知』 『身寄りのない人への支援』

◇講師：大学非常勤講師 加藤 良子氏、大学専任講師 林 祐介氏

◇アンケート コメント紹介

■大学で自己覚知の大切さは学んできたが、実践現場に出て改めて自分を振り返ってみることの大切さを感じることができた。自分の考え方や特徴を知ること、専門職としての在り方を見つめ直すきっかけとなると考えた。

身寄りのない方への支援では、最近実際にそのようなケースを経験することがあり、身元保証団体のメリットやデメリットを再度学び直すことができた。急性期病院だからこそ、そのようなケースが今後も出てくると思われるため、生活保護の申請など、スピード感を持ってしっかりと対応していく必要があると考えた。

新任者養成研修会⑥～⑧を振り返って

委員長 外山弘幸

2020年度の新任者養成研修委員会としての研修会が無事に終了しました。オンライン研修でしたが、多くの方にご参加いただき、動画についても繰り返しご覧いただきました。研修アンケートから、日常ですぐに活用することができる研修会を提供することができたことがわかり良かったと思います。委員会委員だけではなく、講師の方々も慣れない作業が多かったと思いますが、期日に間に合うようにご準備をいただいた講師の方々には感謝申し上げます。

2021年度についてはすでに準備が始まっており、前年度にプラスα加えた形で提供することを考えています。新任者同士が交流を持つことができるような場面も作り、新任者が他者と交流することで悩みを共有することができるような機会ができればと思います。そしていずれ自信を持って業務を行うことができるようにプログラムを検討していきたいと思えます。

委員会や研修統括会議などもオンラインで開催する中、委員会間のネットワークや情報交換を行い活動を進めていきたいと思えます。